

③ 認証用端末変更

多要素認証の設定を初期化する機能です。初期化後に新しい端末と加入者ポータルを紐づけることで認証用端末を変更することができます。

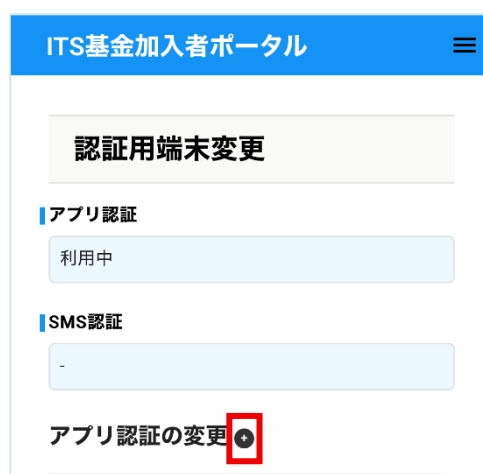
「設定」画面で「認証用端末変更」ボタンを押すと、画面が遷移します。



まず、アプリ認証を初期化する手順を説明します。SMS 認証を初期化する手順は[こちら](#)をご参照ください。

◆アプリ認証の初期化

1. 「アプリ認証の変更」の右にある「+」を押します。



2. 表示される注意事項を読み、問題がなければ、チェックボックスにチェックを入れて「次へ」ボタンを押します。

ITS基金加入者ポータル

≡

アプリ認証の変更 ●

この操作を行うと、加入者ポータルと認証用端末の連携が初期化されます。

多要素認証が無効化されるため、すみやかに再設定を行う必要があります。

一定期間内に変更後の端末で再設定を行わないと、アカウントがロックされます。

変更前の端末で認証アプリのバックアップを行い、変更後の端末で復元する方法もあります。

バックアップからの復元については [こちら](#) をご参照ください。

以上を踏まえて連携の初期化を行う場合は「次へ」ボタンを押してください。

☒ 上記を確認しました。

次へ

※変更前と変更後の端末がどちらも iOS 端末である場合、または変更前と変更後の端末がどちらも Android 端末である場合は、変更前の端末で認証アプリのバックアップを行い、変更後の端末で復元する方法もあります。詳細は[こちら](#)をご参照ください。

3. メールアドレスへワンタイムパスワードを記載したメールが送信され、加入者ポータルはワンタイムパスワードを入力する画面に遷移します。ワンタイムパスワードを入力し、「認証情報初期化」ボタンを押します。

メール

ITS基金加入者ポータルで認証用端末の変更を受け付けました。

認証用端末変更作業の続行に必要なワンタイムパスワードです。

XXXXXX

2026年 月 日 時 分までにITS基金加入者ポータルの画面にご入力ください。

有効期限内に入力できなかった場合は、恐れ入りますが、認証用端末変更作業を最初からやり直してください。

加入者ポータル

認証用端末変更

メールアドレス
(@) にワンタイム
パスワードを送信いたしました。

メールを確認し、下記のフォームにワンタイムパ
スワードを入力してください。

「認証情報初期化」ボタンを押すと、一度ログア
ウトします。

トップ画面から再度ログインし、変更後の端末で
認証情報の再設定を行ってください。

ワンタイムパスワード[前へ](#)[認証情報初期化](#)

4. 次の画面に遷移すれば、認証情報初期化は完了です。



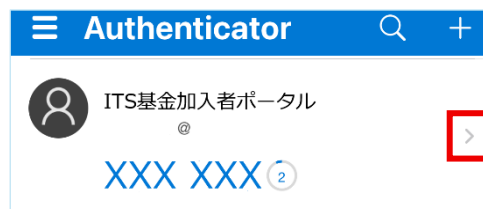
トップ画面に戻り、認証方法を「アプリ認証」または「SMS 認証」のどちらかから選択して再度ログインすることで、新しい端末と加入者ポータルを紐づけます。この作業は初回ログインとほとんど同じになりますので、アプリ認証の場合は[こちら](#)、SMS 認証の場合は[こちら](#)をご参照ください。

ただし、入力するパスワードは初期パスワードではありません。サインイン画面でメールアドレスとご自身で設定したパスワードを入力すると、「パスワードの変更」画面を経由せず、直接「アプリ認証」画面または「SMS 認証」に遷移します。

※認証情報初期化後、10 営業日(基金事務局の営業日)以内に再ログインの作業を完了させないと、アカウントがロックされます。アカウントがロックされた場合は基金事務局または事業所管理者へご相談ください。

※認証アプリから加入者ポータルのアカウントを削除してください。

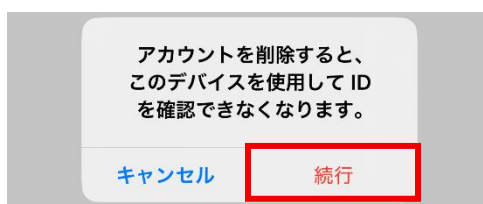
- i 削除するアカウントの右側にある「>」を押します。



ii 「アカウントの削除」を押します。



iii 確認モダルの「続行」を押します。



◆SMS 認証の初期化

1. 「SMS 認証の変更」の右にある「+」を押します。

The screenshot shows the 'ITS基金加入者ポータル' (ITS Fund Member Portal) interface. At the top, there is a blue header with the portal name and a menu icon. Below the header, the main content area is titled '認証用端末変更' (Change Authentication Device). Under this title, there are two sections: 'アプリ認証' (App Authentication) and 'SMS認証' (SMS Authentication). The 'SMS認証' section shows '利用中(*****XXXX)' (In Use (*****XXXX)). At the bottom of the 'SMS認証' section, there is a button labeled 'SMS認証の変更 +' (Change SMS Authentication +).

2. 表示される注意事項を読み、問題がなければ、チェックボックスにチェックを入れて「次へ」ボタンを押します。

The screenshot shows the 'SMS認証の変更' (Change SMS Authentication) confirmation screen. The title is 'SMS認証の変更' with a plus icon. Below the title, there is a block of text explaining the process: 'この操作を行うと、加入者ポータルと認証用端末の連携が初期化されます。' (Performing this operation will initialize the connection between the member portal and the authentication device.) It also mentions that multi-factor authentication will be invalidated and that the user may need to reset it. A warning states that if the user does not reset the device within a certain period, their account will be locked. The text concludes by asking the user to press the '次へ' (Next) button. Below the text, there is a checkbox labeled '上記を確認しました。' (I have confirmed the above.) which is checked. At the bottom, there is a red button labeled '次へ' (Next).

3. メールアドレスへワンタイムパスワードを記載したメールが送信され、加入者ポータルはワンタイムパスワードを入力する画面に遷移します。ワンタイムパスワードを入力し、「認証情報初期化」ボタンを押します。

メール

ITS基金加入者ポータルで認証用端末の変更を受け付けました。
認証用端末変更作業の続行に必要なワンタイムパスワードです。
XXXXXX

2026年 月 日 時 分までにITS基金加入者ポータルの画面にご入力ください。
有効期限内に入力できなかった場合は、恐れ入りますが、
認証用端末変更作業を最初からやり直してください。

加入者ポータル

ITS基金加入者ポータル

認証用端末変更

メールアドレス
(@) にワンタイム
パスワードを送信いたしました。

メールを確認し、下記のフォームにワンタイムパ
スワードを入力してください。

「認証情報初期化」ボタンを押すと、一度ログア
ウトします。

トップ画面から再度ログインし、変更後の端末で
認証情報の再設定を行ってください。

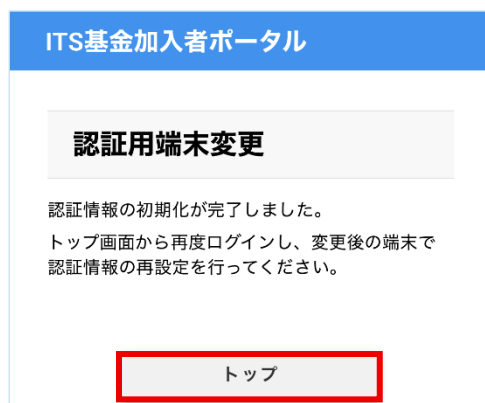
ワンタイムパスワード

XXXXXX

前へ

認証情報初期化

4. 次の画面に遷移すれば、認証情報初期化は完了です。



トップ画面に戻り、認証方法を「アプリ認証」または「SMS 認証」のどちらかから選択して再度ログインすることで、新しい端末と加入者ポータルを紐づけます。この作業は初回ログインとほとんど同じになりますので、アプリ認証の場合は[こちら](#)、SMS 認証の場合は[こちら](#)をご参照ください。

ただし、入力するパスワードは初期パスワードではありません。サインイン画面でメールアドレスとご自身で設定したパスワードを入力すると、「パスワードの変更」画面を経由せず、直接「アプリ認証」画面または「SMS 認証」に遷移します。

※認証情報初期化後、10 営業日(基金事務局の営業日)以内に再ログインの作業を完了させないと、アカウントがロックされます。アカウントがロックされた場合は基金事務局または事業所管理者へご相談ください。